

情 報 公 開 文 書

研究の名称	多発心室中隔欠損症外科治療の短期及び遠隔期成績
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者	富山大学附属病院 外科学講座 助教 青木正哉
研究の概要	<p>【研究対象者】 当院で治療された多発心室中隔欠損症を有する患者</p> <p>【研究の目的・意義】 多発心室中隔欠損症は孤発性の心室中隔欠損症に比較し死亡率、ペースメーカー挿入率は未だ3倍以上と高率で、確立された治療戦略はありません。富山大学附属病院は多発心室中隔欠損症を過去14年間で120例以上経験しており、国内トップクラスの実績を誇ります。これまでに富山大学附属病院から新たな治療方法(サンドイッチ法)、ならびにその成績を報告してきました。さらに、心臓超音波検査、心臓カテーテル検査をはじめとする短期～遠隔期のデータを継続して蓄積しており、過去に得られた経験を元に当院での治療戦略を確立するに至っています。当院での成績、検査などから得られたデータを基に、より良い診療へ役立てます。</p> <p>【研究の方法】 診療録から臨床経過、手術所見、血液検査所見、心臓超音波検査および心臓カテーテル検査所見等の臨床データを集計し、治療予後を後方視的に検討します。</p> <p>【研究期間】 承認日から2025年12月31日まで</p> <p>【研究結果の公表の方法】 国内外の学会への発表、査読制度のある論文への投稿</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	研究用に新たに検査を行うことはありません（必要な検査は全て臨床判断に基づき施行します）。患者様の情報は匿名化し、個人が特定されないように管理します。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 外科学講座 助教 青木正哉
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学附属病院 外科学講座 助教 青木正哉
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。

電話 076-434-7330

FAX 076-434-5032

E-mail masaya@med.u-toyama.ac.jp

担当者所属・氏名 富山大学附属病院 外科学講座 助教 青木正哉